



■12月定例会予告:

相模原の地盤は本当に地震に強いのか？

皆さんはよくこんな話を聞きますか？「相模原市の地盤はいい」とか「だから防災上安全な街」。
本当に 科学的に そうなのでしょうか？

12月の定例会ではそんな疑問にお答えしたいと考えました。都市の防災的側面について(社)日本技術士会 防災支援委員会の専門家の方々をお招きして首都直下型地震の話や、相模原が地震災害時にどのようなことが予測されるのか、他都市と比べてどうなのか等をお聞きます。経済人として取引先との災害時対応なども参考に聞き出せるかもしれません。

きっと皆さんのお役に立つことと思います。

(担当:中嶋幸夫)



テーマ: ~地盤から見た相模原市の都市の安全性について~
相模原の地震災害と防災力を考える

講師: 社団法人日本技術士会 防災支援委員会 の各分野専門家

<http://www.sai-ipej.com/bousai/>

右の内容での講演と 意見交換が行われます。

日時: 平成 18 年 12 月 11 日(月)

午後 6 時 30 分~午後 8 時 30 分

場所: 相模原市立産業会館 3 階 大研修室

※尚この定例会は、当会の会員以外の方、どなたでも無料で参加できます。



講演内容 (予定)

1. 地盤・地震の一般知識
 - ・地質と地震のタイプ
 - ・首都直下地震とは
2. 地震災害の近況
 - ・最近の地震の特徴
 - ・災害につよい都市とは
3. 相模原の地盤と地震の関係
 - ・相模原の地形・地質と地震災害
4. 安全安心社会の都市づくりとは
5. 意見交換

■11月定例会報告: 平成 18 年 11 月 13 日開催

テーマ:「相模総合補給廠の一部返還用地の活用について」

当日は、お忙しいなか、相模原市の小林渉外課長、古川都市計画課長、石川都市交通計画課長、加藤商業サービス業課長にお越しいただき、上記のテーマに沿って、最新の情報と今後の展望などのお話をお伺いし、その後参加者との間で、活発な意見交換が行われました。

その中で特に印象に残り、今後の課題となる事は以下の通りです。

- ・補給廠の返還と小田急線の延伸は極めて密接な関連性を持っている。
- ・小田急線の延伸には、相模原市と共に町田市との連携が肝心である。
- ・市はあくまで全面返還を望み、その一部としての活用を考える。
- ・市は3年以内に新市マスタープランを作成するので、それに向けて市民の意見を聞いて行く。

■11月担当者より一言

中村昌治・吉田修一

我々相模原市民にとっての「悲願」である相模総合補給廠の返還について、夢が現実となろうとしている今、相模原市でこの事を担当されている各課の課長より、最新の情報と共に「本音」を聞かせて頂いたところに価値があります。

今後は、関連する団体等とも情報交換しながら調査・研究を重ね、ふさわしい時期に、産業人としての提言をして行きたいと考えています。

FAX:042-753-7637相模原商工会議所 総務課 総務係 行

都市産業研究会 12 月度 定例会 出欠席連絡表

12月11日(月)の定例会 に 出席・欠席 します

(←いずれか該当する方に○をしてください)

時間: 18:30~ 概ね2時間程度

場所: 相模原市立産業会館3階大研修室

★当会は会員以外の方々のオブザーバー参加を常に大歓迎しています

会社名

氏名

■11月定例会 グラフティ



■役員の名顔 (第7回)

監事:白井憲二

東神興業株式会社 代表取締役

- 特技: 英会話で分かった振りをする力! ?
(日本人に聞き易い発音)
- 趣味: スキー(石打方面)、上手くならないゴルフ
- 信条: 不屈の精神 (時々、世の中に流される)
- 性格: 基本的には気の良いオジサン・・
- 資格: 年を取ると共に頑固
測量士・土木工事の
施工に関する資格・
衛生管理者



平成 1 8 年 月 日